

# 各単組定期大会開催 産別運動重視でたたかう方針を決定



## 日港労連

日本港湾労働組合連合会は、九月九日～十日に掛け、第六十三回定期大会を松山市内に於いて開催した。大会では、全国港湾労働組合連合会・玉田書記長、港湾荷役事業関係労働組合協議会・新屋特別幹事を招きして産別運動と団結の決意について、貴重なる挨拶を頂いた。

二〇一五年度運動方針案では、港湾荷役・関連部門・検査部門を踏まえ専業・現業労働者の地位向上・職域の確保・安全問題・安保法制反対など多岐に亘る運動方針案が満場一致で確認され、大会宣言案に於いても採択された。

## 検定労連

検定労連第四十三回定期大会は、九月二十八日及び三十日、豊橋市シーサーパレス（京浜・新日本）両代議員十名、役員九名、傍聴を含む参加者総数四十名の出席のもと開催された。全国港湾

は、九月九日～十日に掛け、第六十三回定期大会を松山市内に於いて開催した。大会では、全国港湾労働組合連合会・玉田書記長、港湾荷役事業関係労働組合協議会・新屋特別幹事を招きして産別運動と団結の決意について、貴重なる挨拶を頂いた。

二〇一五年度運動方針案では、港湾荷役・関連部門・検査部門を踏まえ専業・現業労働者の地位向上・職域の確保・安全問題・安保法制反対など多岐に亘る運動方針案が満場一致で確認され、大会宣言案に於いても採択された。



## 全倉運

全国検数労働組合連合会第47回定期大会は、三島川之江港の指定港化促進への運動に対するお詫びと更なる運動の強化や、日検・全檢の企業対策、東京港で行われた港湾シンボジウムに対する取り組みや、

東海地方の山中二郎中央執行委員、四国地方の長尾伸夫中央執行委員が退任したことから、後任として、東海地方の鈴木勝也中央執行委員、四国地方の橋崎正伸中央執行委員を選出した。

検数の諸課題では、検数事業が果たしている役割を金体で再認識し、検数労連方針でもある「仕事と収入の確保」運動を日常活動の実践課題として取り組んでいた。

そして、検数労連として最重要課題と位置付けていた『組織強化・拡大』については、要求の前進II組織の強化・拡大と位置付け、全国一丸となって取り組むことが確認されました。

大会は、外池副委員長に

より開会挨拶および資格審査の後、大会議長として前委員長が来賓として出席を致しました。

## 大港労組

大港労組第六十三回定期大会は、十月二日（金）、大坂港労働者福祉センターに於いて、執行部二十二名、代議員六十二名、委任三千名を含む百十四名出席のもと、議長に向井代議員（大代表）を選出し開催された。また、来賓は全国港湾から糸谷委員長が参加して頂きました。

大会は、一四年度の主要な運動の経過と総括（第一号議案）、一五年度運動方針案（第二号議案）、一四年度一般会計収支決算報告・一四年度会計監査報告

による開会挨拶および資格審査の後、大会議長として前委員長が来賓として出席を致しました。

大港労組第六十三回定期大

会は十月二日（金）、大

阪港労働者福祉センターに於いて、執行部二十二名、代議員六十二名、委任三千名を含む百十四名出席のもと、議長に向井代議員（大代表）を選出し開催された。また、来

賓は全国港湾から糸谷委員長が参加して頂きました。

大会は、一四年度の主要な運動の経過と総括（第一号議案）、一五年度運動方針案（第二号議案）、一四

年度一般会計収支決算報告

・一四年度会計監査報告

による開会挨拶および資格審査の後、大会議長として前委員長が来賓として出席を致しました。

大会は、一四年度の主要な運動の経過と総括（第一号議案）、一五年度運動方針案（第二号議案）、一四</